

第2期高知県教育振興基本計画 基本目標及び基本方向ごとのKPI一覧(案)

資料3

1 基本目標 ※成果(アウトカム)を重視し客観的に成果を検証できる数値目標を基本目標として設定

知	小学校の学力は全国上位を維持し、中学校の学力は全国平均以上に引き上げる 高校3年生の4月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を15%以下に引き下げる(高等) 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下にする(高等)
徳	児童生徒の生徒指導上の諸問題(不登校、暴力行為、中途退学)の状況を全国平均まで改善する 児童生徒の道徳性(自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神等)に関する意識調査結果で全国平均を3ポイント以上上回る
体	小学校の体力・運動能力は全国上位に、中学校の体力・運動能力は全国平均以上に引き上げる

2 基本方向ごとのKPI

第2期高知県教育振興基本計画の施策体系		KPI	担当課	計画冊子掲載		H29現状	H29参考値	計画冊子掲載		
				現状	参考値			H31年度末目標値		
【基本方向1】 チーム学校により組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組める学校を構築する <小・中学校>	知・徳・体 共通の対策	1) 学校の組織マネジメント力を強化する仕組みの構築	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	小中	・小: 72.3% ・中: 71.6%	全国平均 ・小: 61.5% ・中: 55.3%	・小: 75.6% ・中: 77.6%	全国平均 ・小: 62.5% ・中: 56.5%	・小: 80%以上 ・中: 70%以上	
			校長に占める「管理職等育成プログラム」修了者の割合	教七	・小: 46.2% ・中: 53.1%		・小: 58.7% ・中: 57.6%		・小: 75% ・中: 80%	
			(調整中)市町村立学校における勤務時間を客観的に把握するシステムの整備状況	教福						
		2) 若年教員の資質・指導力の向上	「高知県の教員スタンダード」(本県の教員が採用後から10年終了までに身に付けるべき到達目標)の達成状況	教七	・小: 2.4 ・中: 2.4 ※3段階評価			・小: 2.5 ・中: 2.6 ※4段階評価 ※数値は中間検証結果		・小: 3.0以上 ・中: 3.0以上 ※4段階評価
			3) 地域との連携・協働の推進	学校支援地域本部が設置された学校数	生涯	・小: 82校 ・中: 44校			・小: 115校 ・中: 73校 ・義務: 2校	
		放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置率(小学校)		生涯	94%			94%		95%以上
		学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が様々な活動に参加してくれる学校の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合)		生涯	・小: 83.8% ・中: 64.3%	全国平均 ・小: 86.9% ・中: 74.1%	・小: 84.0% ・中: 76.7%	全国平均 ・小: 88.7% ・中: 77.4%	・小: 100% ・中: 100%	
		4) 外部・専門人材の活用の拡充	放課後等学習支援員の配置校数	小中	・小: 90校 ・中: 73校			・小: 107校 ・中: 73校		・小: 100校以上 ・中: 80校以上
			スクールカウンセラーの配置校数、アウトリーチ型スクールカウンセラーの市への配置数(配置率)	人権	・小: 166校(85.6%) ・中: 107校(100.0%)			・小: 194校(100.0%) ・中: 107校(100.0%) ・6市(55%)		・小: 100% ・中: 100% ・11市(100%)
			スクールソーシャルワーカーの配置状況市町村数	人権	29市町村			31市町村		全市町村
	運動部活動支援員を派遣した部の数・割合(中学校)		保体	2353部(8.8 6.6%)	運動部総数 ・798部	派遣部数 60部(7.2%)	運動部総数 838部	250 84部以上(約30 10%)以上		
	運動部活動指導員を派遣した部の数・割合(中学校)		保体	—	—	—	—	38部以上(約5%)以上		
	5) 障害の状態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	「個別の指導計画」を作成している学校の割合(公立小・中学校)	特支	・小: 88.0% ・中: 74.7%	全国平均 ※未公表 (H29.2月現在)	H29.1速報値 ・小: 95.0% ・中: 86.1%	H28全国平均 ・小: 84.9% ・中: 80.4%	・小: 100% ・中: 100%		
		発達障害の診断・判断のある児童生徒について「引き継ぎシート」を活用した引き継ぎを実施した学校の割合	特支	・小一: 51.1% ・中一高: 31.0%			※H30.2月速報値予定	・小一: 100% ・中一高: 100%		
		ユニバーサルデザインの視点を大切に研究授業の実施率校内研究の計画等にユニバーサルデザインの視点による授業づくり等を位置付け、実施している学校の割合	特支	・小: 89.2% ・中: 85.0% ※研究授業実施率			※H30.2月速報値予定	・小: 100% ・中: 100%		
	知の対策	1) 学力向上に向けて教員同士が学び合う仕組みの構築	学習指導・評価の計画の作成に当たり教職員同士が協力し合っている学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	小中	・小: 37.2% ・中: 31.2%	全国平均 ・小: 40.6% ・中: 34.2%	・小: 32.6% ・中: 29.0%	全国平均 ・小: 41.6% ・中: 34.6%	全国平均以上	
			言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んでいる学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	小中	・小: 30.4% ・中: 34.9%	全国平均 ・小: 36.3% ・中: 32.8%	・小: 35.8% ・中: 41.1%	全国平均 ・小: 37.1% ・中: 32.5%	全国平均以上	
		2) 教員の教科指導力を向上させる仕組みの構築	授業の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)	小中	【国語】 ・小: 37.3% ・中: 27.2% 【算数・数学】 ・小: 49.5% ・中: 32.4%	全国平均 【国語】 ・小: 36.3% ・中: 26.2% 【算数・数学】 ・小: 46.7% ・中: 31.7%	【国語】 ・小: 42.4% ・中: 25.3% 【算数・数学】 ・小: 49.1% ・中: 31.4%	全国平均 【国語】 ・小: 38.9% ・中: 26.8% 【算数・数学】 ・小: 47.6% ・中: 31.5%	【国語】 ・小: 60%以上 ・中: 50%以上 【算数・数学】 ・小: 60%以上 ・中: 50%以上	
			総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行っている学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	小中	・小: 17.3% ・中: 21.1%	全国平均 ・小: 25.4% ・中: 29.3%	・小: 21.8% ・中: 32.7%	全国平均 ・小: 26.7% ・中: 29.9%	全国平均以上	
			授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていると回答した児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)	小中	・小: 60.4% ・中: 64.4%	全国平均 ・小: 56.9% ・中: 47.6%	・小: 63.3% ・中: 69.9%	全国平均 ・小: 58.6% ・中: 53.1%	・小: 80%以上 ・中: 80%以上	
授業の最後に、学習内容を振り返る活動が行われていると回答した児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)			小中	・小: 44.4% ・中: 34.6%	全国平均 ・小: 39.9% ・中: 23.3%	・小: 47.0% ・中: 40.3%	全国平均 ・小: 40.3% ・中: 25.3%	・小: 80%以上 ・中: 80%以上		
3) 児童生徒の学習の質・量の充実		学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思うと回答した児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)	小中	・小: 36.1% ・中: 31.9%	全国平均 ・小: 29.4% ・中: 22.3%	・小: 36.9% ・中: 30.2%	全国平均 ・小: 29.5% ・中: 23.7%	・小: 70%以上 ・中: 70%以上		
		平日の授業時間以外の学習時間が30分未満の児童生徒の割合	小中	・小: 11.5% ・中: 13.5%	全国平均 ・小: 11.9% ・中: 14.4%	・小: 9.9% ・中: 14.1%	全国平均 ・小: 11.3% ・中: 13.2%	・小: 6%以下 ・中: 8%以下		
4) 児童生徒の学習意欲を高めるための機会の確保		児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	小中	・小: 38.2% ・中: 28.4%	全国平均 ・小: 40.1% ・中: 29.9%	・小: 37.3% ・中: 30.8%	全国平均 ・小: 41.2% ・中: 30.6%	全国平均以上		
		平日の授業時間以外に10分以上読書をしている児童生徒の割合	生涯	・小: 65.6% ・中: 54.0%	全国平均 ・小: 63.5% ・中: 49.7%	・小: 63.7% ・中: 54.6%	全国平均 ・小: 63.3% ・中: 51.4%	・小: 75%以上 ・中: 70%以上		
徳の対策	1) 規範意識や自尊感情を育む組織的な取組の推進	道徳の授業を全学級で公開した学校の割合	小中	・小: 100.0% ・中: 98.1%		年度当初調査 ・小: 100% ・中: 100%		・小: 100% ・中: 100%		
		子どもの児童生徒の自尊感情や自己肯定有用感を育む、開発的・予防的な生徒指導が組織的に行われている学校の割合(十分できていると回答した学校の割合)	人権	・小: 24.8% ・中: 23.7%			・小: 28.3% ・中: 19.5%		・小: 50%以上 ・中: 50%以上	
		10の人権課題を年間指導計画に位置付けている学校の割合	人権	・小: 71.9% ・中: 72.7%			・小: 85.0% ・中: 76.1%		・小: 100% ・中: 100%	
	中学校区の9年間で9つの人権課題を年間指導計画に位置づけている学校の割合	人権	—	—	—	—	・小: 100% ・中: 100%			

第2期高知県教育振興基本計画の施策体系		KPI	担当課	計画冊子掲載		H29現状	H29参考値	計画冊子掲載 H31年度末目標値	
				現状	参考値				
【基本方向1】 チーム学校により 組織的・協動的に 目標の実現や課題 の解決に取り組 める学校を構築 する ＜小・中学校＞ (続き)	徳の対策 (続き)	2) 生徒指導上の諸問題の未然防止のための仕組みの構築	中1ギャップ解消に向けて「管理職や生徒指導主事を中心とした組織的な小中連携の取組が行われている学校の割合(十分できていると回答した学校の割合)」	人権	・小:19.6% ・中:26.9%		・小:27.0% ・中:31.0%	・小:50%以上 ・中:50%以上	
		学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合(「よく行っている」と回答した学校の割合)	人権	・小:62.8% ・中:61.5%	全国平均 ・小:57.0% ・中:48.9%	・小:63.2% ・中:57.9%	全国平均 ・小:58.1% ・中:49.6%	・小:70%以上 ・中:70%以上	
		3) 生徒指導上の諸問題の早期発見・早期解決のための仕組みの構築	いじめが解消した割合(いじめが解消した件数/いじめの認知件数)(公立小・中学校)	人権	・小:83.5% ・中:84.7%	全国平均(国公立) ・小:90.4% ・中:85.9%	・小:92.4% ・中:92.5%		・小:90%以上 ・中:90%以上
			いじめを認知している学校の割合(公立小・中学校)	人権	—	—	・小:45.8% ・中:51.4%	・小:71.6% ・中:79.3%	全国平均以上
			不登校の新規発生率(その年度、新たに不登校になった児童生徒数/不登校児童生徒総数)	人権	(公立) ・小:50.0% ・中:41.4%	全国平均(国公立) ・小:48.0% ・中:40.6%	(公立) ・小:62.4% ・中:42.2%		(公立) ・小:30%以下 ・中:35%以下
		スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが参加した校内支援会を月1回以上実施している学校の割合	人権	—		・小:38.0% ・中:49.5%		100%	
		スクールカウンセラーを講師とした校内研修を年1回以上実施している学校の割合	人権	—		・小:26.2% ・中:27.1%		100%	
	校種間における児童生徒の情報共有を組織的・計画的に行っている学校の割合	人権	—	—	—	—	100%		
	体の対策	1) 体育授業の改善	1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合	保体	・小男:8.4% ・小女:15.6% ・中男:10.0% ・中女:25.9%	全国平均 ・小男:6.6% ・小女:11.6% ・中男:6.4% ・中女:20.6%	※H30.2月中旬公表予定	※H30.2月中旬公表予定	全国平均以下
			体育・保健体育の授業が楽しいと思う児童生徒の割合(楽しい・やや楽しいと回答した割合)	保体	・小男:94.9% ・小女:91.8% ・中男:88.2% ・中女:83.4%	全国平均 ・小男:94.8% ・小女:91.7% ・中男:88.3% ・中女:83.0%	※H30.2月中旬公表予定	※H30.2月中旬公表予定	・小男:100% ・小女:100% ・中男:100% ・中女:100%
2) 健康教育の充実		毎日朝食を食べる児童生徒の割合	保体	・小:87.3% ・中:81.1%	全国平均 ・小:87.3% ・中:83.3%	・小:87.0% ・中:80.4%	全国平均 ・小:87.0% ・中:82.7%	・小:90%以上 ・中:85%以上	
		肥満傾向児の出現率	保体	・小男:10.3% ・小女:9.7% ・中男:8.7% ・中女:9.7%	全国平均 ・小男:10.0% ・小女:7.7% ・中男:7.7% ・中女:6.6%	※H30.2月中旬公表予定	※H30.2月中旬公表予定	全国平均以下	
3) 運動部活動の充実		運動部活動の加入率(中学校)	保体	・男:76.5% ・女:50.2%	全国平均 ・男:78.5% ・女:58.3%	※H30.2月中旬公表予定	※H30.2月中旬公表予定	全国平均以上	
		学校の決まりとして運動部活動における週休日を設定している学校の割合	保体	66.2%	全国平均 71.6%	100%	※H30.2月中旬公表予定	100%	
【基本方向1】 チーム学校により 組織的・協動的に 目標の実現や課題 の解決に取り組 める学校を構築 する ＜高等学校・特別 支援学校＞	知・徳・体 共通の対策	1) 学校の組織マネジメント力を強化する仕組みの構築	校長に占める「管理職等育成プログラム」修了者の割合	教セ	・高:94.1% ・特:71.4%		・高:94.1% ・特:71.4%	・高:100% ・特:100%	
		県立学校における月100時間を超える時間外勤務又は月80時間を超える時間外勤務を2カ月連続して行った教職員数	教福	57人		92人 ※H29.11月末現在		0人	
		2) 若年教員の資質・指導力の向上	「高知県の教員スタンダード」(本県の教員が採用後から10年終了までに身に付けるべき到達目標)の達成状況	教セ	・高:2.6 ・特:2.4 ※3段階評価		・高:2.7 ・特:2.6 ※4段階評価 ※数値は中間検証結果		・高:3.0以上 ・特:3.0以上 ※4段階評価
		3) 大学や企業との連携・協働の推進							
	4) 外部・専門人材の活用の拡充	学習支援員の配置校数	高等	32校		32校		32校	
		スクールカウンセラーの配置校数(配置率)・配置頻度	人権	・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣46.7% ・特:14校(100%)		・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣46.7% ・特:14校(100%)		・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣100% ・特:14校(100%)	
		スクールソーシャルワーカーの配置校数	人権	・高:10校 ・特:3校		・高:12校 ・特:3校		・高:16校 ・特:5校	
		運動部活動支援員を派遣した部の数・割合(県立高等学校・特別支援学校)	保体	・高:52 37部(7.2%) ・特:0部(0.0%)	運動部総数 ・高598部 ・特28部	・高:44部(7.0%) ・特:0部(0.0%)	運動部総数 ・高628部 ・特31部	・高:49 63部以上(約9 10%以上) ・特:4 4部以上(約5 10%以上)	
	知の対策	1) 義務教育段階の学力の定着に向けた組織的な取組の充実	家庭学習をほとんどしないと回答した生徒の割合	高等	高1:32.4% 高2:44.4%		高1:29.7% 高2:45.9%		高1:15%以下 高2:15%以下
			授業改善に向けて教科会で定期的に授業の情報共有等が行われている学校の割合	高等	—	—	47%	—	100%
2) 多様な学力・進路希望に対応した組織的な指導の充実		公立高校卒業生の国公立大学進学者数	高等	現役551人		現役490人		現役700人以上	
		県内大学入学定員数に占める県内公立学校卒業生の割合	高等	19.9%		18.8%		25%以上	
		公立高校卒業生の就職内定率	高等	98.4%(全・定・通)		98.5%(全・定・通)		98%以上(全・定・通)	
3) 思考力・判断力・表現力の育成に向けた組織的な取組の推進									
4) 特別支援学校における多様な教育的ニーズへの対応の充実	5領域すべての特別支援学校教諭二種免許以上を保有する特別支援学校の教員の割合	特支	13.6%		23.0%(H29.5.1現在)		80%以上		
	理学療法士・言語聴覚士等の外部専門家を活用した小・中学校への支援件数	特支	20件		18件		40件以上		

第2期高知県教育振興基本計画の施策体系			KPI	担当課	計画冊子掲載		H29現状	H29参考値	計画冊子掲載	
					現状	参考値			H31年度末目標値	
【基本方向1】 チーム学校により組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組める学校を構築する <高等学校・特別支援学校> (続き)	徳の対策	1) 規範意識や自尊感情を育む組織的な取組の推進	40の人権課題を年間指導計画に位置付けている公立高校の割合	人権	23.1%		12.0%		100%	
			9つの人権課題を年間指導計画に位置付けている高等学校の割合	人権	—	—	—		100%	
		2) 生徒指導上の諸問題の未然防止のための仕組みの構築	中途退学の減少に向けて、 管理職や生徒指導担当者を中心とする組織的な中高連携 の取組を進めていると回答した学校の割合(十分できていると回答した学校の割合)	人権	14.3%		5.5%		50%以上	
		3) 生徒指導上の諸問題の早期発見・早期解決のための仕組みの構築	いじめが解消した割合(いじめが解消した件数/いじめの認知件数)(公立高等学校)	人権	・高:79.2% ・特:75.0%	全国平均 ・高:84.1% ・特:73.6%	・高:94.8% ・特:66.7%	全国平均(国公立) ・高:89.1% ・特:79.1%	・高:95%以上 ・特:95%以上	
			いじめを認知している学校の割合(公立高等学校)	人権	—	—	55.1%	56.6%	全国平均以上	
			不登校の新規発生率(その年度、新たに不登校になった生徒数/不登校生徒総数)	人権	(公立)46.4%	全国平均(国公立)59.2%	(公立)50.8%	全国平均(国公立)57.6%	(公立)30%以下	
			スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが参加した校内支援会を月1回以上実施している学校の割合	人権	—		・高:69.4% ・特:46.1%		100%	
		4) 目的意識の醸成や社会性の育成に向けた組織的な取組の充実	スクールカウンセラーを講師とした校内研修を年1回以上実施している学校の割合	人権	—		・高:42.5% ・特:35.7%		100%	
			校種間における生徒の情報共有を組織的・計画的に行っている学校の割合	人権	—	—	—		100%	
		5) 社会参加に向けた意欲の醸成や社会性を育む組織的な取組の充実《特支》	公立高校卒業後、就職した生徒の就職後1年目の離職率	高等	23.4%	全国平均18.1%	23.5%	全国平均17.2%	全国平均以下	
	企業・大学等におけるインターンシップ等に参加した生徒の割合		高等	75.3%(H28.12月)		75.5%(H29.12月)		100%		
	特別支援学校小学部の児童の居住地校交流の実施率		特支	37.3%		41.7%		70%以上		
	体の対策	1) 体育授業の改善	保健体育の授業が楽しいと感じる生徒の割合(楽しい・やや楽しいと回答した割合)	保体	・男:90% ・女:86%		※H30.2月中旬公表予定	・男:95%以上 ・女:90%以上		
			1日の運動時間が30分未満の生徒の割合	保体	・男:27% ・女:52%		※H30.2月中旬公表予定	・男:20%以下 ・女:40%以下		
		2) 健康教育の充実	毎日朝食を食べる生徒の割合	保体	・男:78% ・女:82%		※H30.2月中旬公表予定	・男:85%以上 ・女:85%以上		
		3) 運動部活動の充実	運動部活動の加入率	保体	・男:62.7% ・女:26.4% ・男女:44.6%	全国平均 ・男:61.3% ・女:29.1% ・男女:45.2%	・男:63.8% ・女:27.0% ・男女:45.8%	全国平均 ・男:58.6% ・女:28.2% ・男女:43.5%	・男:70%以上 ・女:30%以上 ・男女:50%以上	
			学校の決まりとして運動部活動における週休日を設定している高等学校の割合	保体	33.2% ※運動部活動における週休日を設定している高等学校の割合		100%		100%	
	【基本方向2】 厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切る支援策を徹底する	共通の対策	1) 保護者に対する啓発の強化	家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合)	生涯	・小:75.3% ・中:70.2%	全国平均 ・小:79.2% ・中:74.1%	・小:74.7% ・中:70.0%	全国平均 ・小:78.1% ・中:74.3%	全国平均以上
				PTA・教育行政研修会参加後に、研修会で学んだことを新たな取組につなげた単位PTAの割合	生涯	97.4%		97.4%		90%以上
			2) 学校や地域の力による家庭の教育力の補完							
3) 保護者の経済的負担の軽減										
4) 高校中途退学者等の就学・就労に向けた支援の充実・強化			若者サポートステーション利用者の進路決定率(累積)	生涯	54.4%(H27)		57.1%		55%以上	
知の対策		1) 放課後等における学習の場の充実	放課後等学習支援員・学習支援員の配置校数【再掲】	小中・高等	・小:90校 ・中:73校 ・高:32校		・小:107校 ・中:73校 ・高:32校		・小:100校以上 ・中:80校以上 ・高:32校	
			学習支援員配置校に占める授業から放課後までを一貫して担う学習支援員を配置した学校の割合	小中	・小:47.2% ・中:58.3%		・小:92.5% ・中:95.9%		・小:100% ・中:100%	
			放課後学びの場における学習支援の実施率(小学校)	生涯	97.7% ※H28当初計画ベース		98.4%		96%以上	
		2) 厳しい環境にある子どもたちの学びの場へのいざない								
		徳の対策	1) 地域全体で子どもを見守る体制づくり	学校支援地域本部における学習支援、登下校安全指導、環境整備等の学校支援活動回数【再掲】	生涯	14,296回		16,314回		15,000回以上
民生・児童委員が活動に参画している学校支援地域本部の割合	生涯			47.1%(H28.12月)		95.3%		100%		
2) 専門人材、専門機関との連携強化	スクールカウンセラーの配置校数・配置頻度【再掲】		人権	・小:166校(85.6%) ・中:107校(100%) ・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣46.7% ・特:14校(100%)		・小:192校(100%) ・中:107校(100%) ・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣46.7% ・特:14校(100%)		・小:100% ・中:100% ・高:36校(100%) ※1学年3学級以上の学校への週2回派遣100% ・特:14校(100%)		
	スクールソーシャルワーカーの配置状況【再掲】		人権	【小・中】 ・29市町村【高・特】 ・高:10校 ・特:3校		【小・中】 ・31市町村【高・特】 ・高:12校 ・特:3校		【小・中】 ・全市町村【高・特】 ・高:16校 ・特:5校		
	関係機関等につながない不登校児童生徒の割合		人権	—	—	・小:11.4% ・中:15.1% ・高:40.5%	全国平均 ・小:22.6% ・中:26.3% ・高:34.6%	全国平均以下		
	心の教育センターの相談支援件数(来所・電話・メール・出張・巡回相談)		心せ	・延べ3,135件(H29.2月)		・延べ2,867件(H29.12月)		・延べ3,700件以上		

第2期高知県教育振興基本計画の施策体系			KPI	担当課	計画冊子掲載		H29現状	H29参考値	計画冊子掲載	
					現状	参考値			H31年度末目標値	
【基本方向2】 厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切る支援策を徹底する(続き)	体の対策	1)運動・スポーツの機会の提供								
		2)保護者に対する啓発の強化	毎日朝食を食べる児童生徒の割合【再掲】	保体	・小:87.3% ・中:81.1% ・高:80%	全国平均 ・小:87.3% ・中:83.3%	・小:87.0% ・中:80.4% ・高:2月中旬	全国平均 ・小:87.0% ・中:82.7% ※高は全国調査なし	・小:90%以上 ・中:85%以上 ・高:85%以上	
		3)欠食がみられる子どもへの支援								
	就学前	1)保育者の親育ち支援力の強化	園内で保育者研修を実施した保育所・幼稚園等の割合	幼保	—			※1月調査、2月集計予定		100%
		2)保護者の子育て力向上のための支援の充実	夜10時までに寝る幼児の割合(3歳児)	幼保	92.1%	全国平均 68.5%(H22) ※2才児		※2月集計予定		90%以上
			親育ち支援保護者研修の参加者数及び参加率	幼保	1,416人 (H29.1月)、 42.9%(上半期)			1,572人 53.0% (H29.11月)		1,400人以上 60%以上
		3)保育所・幼稚園等と家庭や地域等との連携の充実	親育ち・特別支援保育コーディネーターの配置人数	幼保	10市町村12人			9市町村10人		24市町村30人
			家庭支援推進保育士の配置人数	幼保	61人 (H29.2月)			68人		93人
			家庭支援推進保育士配置園における家庭支援の計画・記録の作成率	幼保	—			※2月調査予定		100%
			多機能型保育事業所の設置数	幼保	—			2か所		40箇所
【基本方向3】 就学前の子どもたちの教育・保育環境の整備を進め「生きる力」の基礎をつくる	1)保育所保育指針・幼稚園教育要領等に沿った指導方法の確立	ガイドラインを保育の見直し・改善に活用した園の割合	幼保	—			シート1活用: 20.9% シート2活用: 8.8% (H29.8月)		シート1活用: 80%以上 シート2活用: 80%以上	
	2)保育所・幼稚園等での組織力・実践力の向上に向けた組織マネジメント力の強化	園内研修及びブロック研修の実施回数	幼保	234回 (H29.2月)			229回		年間200回以上	
		園評価の実施率	幼保	59.5%			70.3%		100%	
	3)保育者のキャリアステージにあった資質・指導力の強化	教育センターが実施するステージ研修の受講園の割合	幼保	基礎研:42.3% 主任・教頭研: 47.2% 所長・園長研: 38.5%			基礎研:44.0% 主任・教頭研: 55.7% 所長・園長研: 53.1%		基礎研:80%以上 主任・教頭研:80%以上 所長・園長研:80%以上	
	4)保幼小の円滑な接続の推進	接続期実践プランを作成・実践した市町村数	幼保	9市町			※3月調査予定		全市町村	
	5)発達障害等のある乳幼児への専門的な指導・支援の充実	親育ち・特別支援保育コーディネーターの配置人数【再掲】	幼保	10市町村12人			9市町村10人		24市町村30人	
家庭支援推進保育士の配置人数【再掲】		幼保	61人 (H29.2月)			68人		93人		
個別の指導計画を作成した園の割合		幼保	86.9%			88.4%		100%		
発達障害の診断・判断のある児童について「就学時引き継ぎシート」を活用した引き継ぎを実施した園の割合		幼保	84.9%			80.4%		100%		
【基本方向4】 県と市町村教育委員会との連携・協働の充実・強化を図る	1)県と市町村教育委員会との連携・協働の推進	教育版「地域アクションプラン」推進事業における各市町村による事業検証結果において目標を達成できた割合	教政	100%(H27)			100% (H29中間)		100%	
	2)教育的風土の醸成に向けた取組の推進	教育の日関連行事の実施件数(市町村)	教政	504件			478件		530件以上	
		教育データを市町村広報紙等に公表した市町村数	教政	15			17		全市町村(学校組合立含む)	
【基本方向5】 安全・安心で質の高い教育環境を実現する	1)南海トラフ地震等の災害に備えた取組の推進	学校施設等の耐震化率	学安	・保・幼:87.5% ・公立小・中: 94.9% ・公立高・特支: 95.3%	全国平均 ・保・幼:85.0% ・公立小・中: 98.1% ・公立高・特支: 96.9%	・保・幼:89.1% ・公立小・中: 97.8% ・公立高・特支: 99.8%	全国平均 ・保・幼:87.6% ・公立小・中: 98.8% ・公立高・特支: 98.1%	・保・幼:100% ・公立小・中:100% ・公立高・特支:100%		
		「高知県安全教育プログラム」を使用した防災教育の実施率	学安	(H27実績) ・小:97.9% ・中:96.2% ・高:100.0%			※年度末に調査予定	(H28実績) ・小:100% ・中:100% ・高:100%	・小:100% ・中:100% ・高:100%	
	2)教育の質の維持・向上を図る視点に立った学校の再編の推進									
	3)校種間の連携・協働の推進	接続期実践プランを作成した市町村数【再掲】	幼保	9市町			※3月調査予定		全市町村	
		発達障害の診断・判断のある児童について「就学時引き継ぎシート」を活用した引き継ぎを実施した園の割合【再掲】	幼保	84.9%			79.4%		100%	
		発達障害の診断・判断のある児童生徒について「引き継ぎシート」を活用した引き継ぎを実施した学校の割合【再掲】	特支	・小→中:62.7% ・中→高:38.5%			※H30.2月速報値予定		・小→中:100% ・中→高:100%	
	4)教育の情報化の推進	県立中・高等学校における統合型校務支援システムの整備率	教政	(H28年度) ・県立中:100% ・県立高:100%	全国平均 (H27年度) 中:41.6% 高:55.4%	(H29年度) ・県立中:100% ・県立高:100%	全国平均 (H28年度) 中:47.0% 高:61.1%		100%	
		市町村立学校における統合型校務支援システムの整備率	教政	—	—	—	※H30.3月調査予定	※H30.3月調査予定	100%	
	5)学校施設の長寿命化改修による整備の推進	(調整中)県立学校で築40年を経過している学校施設の改修率(棟数)	学安	—	—	—	—	—	—	
		(調整中)市町村立学校施設の長寿命化計画の策定率	学安	—	—	—	—	—	—	

第2期高知県教育振興基本計画の施策体系		KPI	担当課	計画冊子掲載		H29現状	H29参考値	計画冊子掲載
				現状	参考値			H31年度末目標値
【基本方向6】 生涯にわたって学び続ける環境をつくる	1)生涯学習の推進体制の再構築	県・市町村教育委員会及び公民館(類似施設含む)における社会教育学級・講座数(教育委員会所管分)	生涯	4,810		5,054		5000以上
	2)新図書館等複合施設を核とした県民の読書環境・情報環境の充実	県民一人当たりの図書貸出冊数	新図	3.9冊	全国平均5.4冊(H26年度)	4.0冊(H28年度)		4.2冊以上
		市町村への協力貸出冊数	新図	27,218冊		27,889冊		32,000冊以上
	3)子どもも大人も学び合う地域づくり	学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が様々な活動に参加してくれる学校の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合)【再掲】	生涯	・小:83.8% ・中:64.3%	全国平均 ・小:86.9 ・中:74.1	・小:84.0% ・中:76.7%	全国平均 ・小:88.7% ・中:77.4%	・小:100% ・中:100%
		学校支援地域本部が設置された学校数【再掲】	生涯	・小:82校 ・中:44校		・小:115校 ・中:73校 ・義務:2校		・小:150校以上 ・中:80校以上
		放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置率【再掲】(小学校)	生涯	94%		94.3%		95%以上
		県立青少年教育施設の利用者数(小・中・高校生)	生涯	114,738人		88,340人(H29.11末現在)		160,000人以上
【基本方向7】 文化財の保存と活用を図る	1)高知城の保存管理と整備の推進	高知城の入場者数	文化	269,628人(うち小・中・高校生35,996人) ※H27年度		242,489人(うち小・中・高校生32,223人)		270,000人以上(うち小・中・高校生38,000人以上)
	2)文化財の保存と活用の推進							
	3)埋蔵文化財の発掘調査・保護の推進							